



# 明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院

vol.14



▲任命式後の記念撮影  
みんな緊張した面持ちです。

まず、院長の木下より挨拶があり任命式が行われ、1人1人タスキを渡され緊張した面持ちで業務に望みました。

救急講習(AEDの使い方)や手術室の体験が行われました。

## 看護の日 中学生二日看護師体験

5月12日はナイチンゲールの誕生日にちなんで看護の日とされています。当院では看護について関心を高めてもらおうと毎年中学生二日看護師体験を実施しています。今年も5月8日、明野中学校三年の生徒5名が参加し、各部署の見学や血圧の測り方・足浴の手伝い・救命救急講習(AEDの使い方)や手術室の体験が行われました。

最後に看護師の服を手術着に着替え手術室に入りました。全員初めての手術室でした。麻酔科の森医師より麻酔についての説明があり、麻酔を行うために色々な機械や薬品などを使用することを説明しました。



▲ボランティア会の方と花を植えました。  
いつでも自分たちの花を見に来てください。

病棟では入院患者さんへの足浴のお手伝い。生徒たちは看護師の指導を受けながら、慣れない手つきで足を洗い、最初は緊張していましたが、患者さんから「ありがとうございます」と言われ喜んでいました。

その後は緊急時(救命救急)の対応についての講習。検査室の見学を行い、ウッドデッキではボランティア会の活動について会長の志水さんより説明があり、話の後はみんなで花を植えました。



▲メスの切れ味を体験。  
みんな驚いていました。



▲手術用機械を体験しました。

副院長の中村はパブリカと関節鏡を使った手術体験。パブリカの種を腫瘍に見立て、傷を最小限に種だけを取り出します。画面を見ながらの小さな空間での繊細な作業にみんな苦労しながら行っていました。

体験後は多数の質問があり「麻酔はどの位の時間効果があるのですか?」「メスほどの位切れるのですか?」など一つ一つ説明を行ったり体験してもらいました。

## 地域医療連携室より

地域医療連携室の利用について

地域医療連携室では、医療福祉相談をお受けしております。  
医療福祉相談では、どんな相談ができるのでしょうか

治療やリハビリが終わり、退院する際には健康なときにはなかった心配事や今までは予測しなかった不安なことが起こってきます。「ここで相談したら良いのか分からない」「誰に相談したら良いのか分からない」というお悩みもあるでしょう。地域医療連携室では、退院後、皆様が安心して治療や療養生活がつけられるよう専門の相談員(社会福祉士・保健師)がお話をお聞きして、お困り事の解決にお手伝いをさせていただきます。

- 自宅に帰ったら見守りがいらないか? 相談員が訪問して見守りか?
- できるだけ自分で動きたいけれど、自宅内が段差などあって自宅での生活できるだろうか?
- 退院して自宅にはかりいも、せつかくリハビリで元気になったけれど動かなくなるのでは?
- 介護保険ってなにが利用できるのか、どうすれば利用できるのか?
- 高齢者の2人暮らし、食事のことが心配
- 退院後は、施設や病院を利用したい。
- 介護のサービスを利用するけど、費用は? 認知症があると言われたけど、今後どんなにしていったらいいのか?

療養生活をするのだけにとどまらずに生活していったらいいのか?

このように、相談の内容はその方の生活によって様々です。

ご相談の上、次のような調整を致します。

- 様々な保健・医療・福祉のサービスについて紹介します。
- 地域の相談機関(地域包括支援センター、ケアマネージャー、保健所、市役所等)や病院施設と連絡をとりご紹介いたします。
- 安心して治療が継続して受けられるよう病院内のスタッフと協力して調整します。

プライバシーは必ずお守りします。お気軽にご相談ください。お電話での相談もお受けしています。

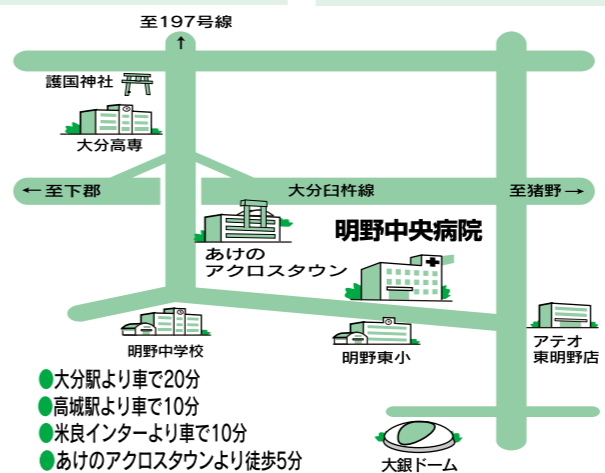


地域医療連携室(佐藤・淵野)  
TEL 097-558-3211

【相談時間】  
月曜日～金曜日は9時30分から17時まで  
土曜日は9時30分から12時まで

## INFORMATION

診療科目	受付時間
内科・外科・消化器内科・肛門外科 リウマチ科・整形外科・形成外科 リハビリテーション科 麻酔科(森 正和)	月曜日～金曜日 8:30～11:30 14:00～17:30 土曜日 8:30～11:30 日曜日・祝祭日 休診



- 大分駅より車で20分
- 高城駅より車で10分
- 米良インターより車で10分
- あけのアクロスタウンより徒歩5分

**病院理念**  
医療・介護を通じ、患者さんの生活の質の向上に努める

**基本方針**

- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

**患者さんの権利について**

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利(セカンドオピニオン)

医療法人社団 唱和会

# 明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2010年8月  
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号  
TEL 097-558-3211(代表) FAX097-558-3709  
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp  
http://www.coara.or.jp/~akenohp/

## 第23回 糖尿病相談会開催

6月12日(土) 第23回糖尿病相談会を開催しました。

今回は『食事』『運動』『薬物』療法がある中で、食事をテーマにとりあげました。

糖尿病でつらい食事制限。制限がある中でも食材の選び方、調理方法次第でおいしく食べることができるということを管理栄養士が解説しました。

当日は高カロリーのカツ丼を食べていたが、普段の食事と変わらぬ味で食事を楽しむためにはどうすればよいかなど食材毎の上手な調理法について学びました。また今回は食品に使用されている甘味料(砂糖など)について解説し、最近多くなっている「カロリーゼロ」の人工甘味料の仕組みや調理での使用方法や注意点などの説明。食品の中にも含まれる砂糖の量についても説明し、普段何気なく見るジュースの中にも多量の砂糖が含まれていることに会場から驚きの声がかれました。

参加者からは医師・薬剤師・栄養士へ普段の食事に対する質問や、

## 日本静脈経腸栄養学会 NST稼働施設に認定

NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)とは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士など多職種医療従事者が一つのチームを組み、さまざまな疾患に対して栄養管理の適切な実施を積極的に治療に役立てていくとする取り組みです。当院は、2006年から院内にNSTを設置し、チームでの病棟回診など積極的に行っていました。この度、これまでの活動実績が評価され、日本静脈経腸栄養学会より「NST稼働施設」に認定されました。栄養状態の改善はより大きな治療効果や疾病の予防効果につながります。今後とも、患者さんの栄養改善に向け、積極的に活動していきたいと思っております。



薬と食事の食べ合わせなど普段深く聞くことのできない内容についての質問が多く寄せられました。



▲管理栄養士の中村より今回のメニューとカロリーを上げない上手な調理方法の説明。



▲多数のご参加をいただき、大盛況でした。

## 日本高血圧学会 高血圧認定研修施設に認定

高血圧の患者さんは現在全国で約4,000万人とも言われ、生活習慣病の中で最も多い病気です。高血圧自体の自覚症状はほとんどありませんが、心筋梗塞や脳卒中、腎不全などの発症リスクとなる最も危険な因子と言われています。肥満、高脂血症、糖尿病、高血圧がメタボリックシンドロームの要因と言われていますが、中でも血圧の管理は私たちの健康維持・増進にとって大変重要な課題です。このたび当院は、「特定非営利活動法人 日本高血圧学会」より高血圧認定研修施設に認定され、同時に院長の木下昭生が高血圧指導医として承認されました。高血圧症の専門的治療及び研究、専門医の育成に邁進し、地域の高血圧診療に微力ながら貢献していきたいと思っております。



## 「コピーライター」吉田寛さん講演

6月19日(土)「なしかの本」やテレビラジオでおなじみのコピーライター、吉田寛さんをお招きして講演会を行いました。今回で4回目となる講演ですが、入院患者さん、地域の皆さんなど今回も約120名の方が参加し「笑って健康くなしかのころろ」と題して笑いの絶えない講演会でした。

まず、吉田さんが先日訪れたアフリカの話を聞いて、日本の安全性について食の安全・水の安全・治安の良さについて話し、「アフリカでは病院に行くのにセスナで8時間もかかる。日本はこんな近くに病院があつて恵まれていますね」。逆に、アフリカでは動物も虫も人も気合いが入っちゃって元気！マサイ族の子供は本当にえらい(愛らしい)と話されました。続いて吉田さんの5つの健康の秘訣について紹介。5点の秘訣を話し、頭文字をとり「は・か・わ・す・れ」(墓忘れ)と覚えておくようにとのこと。最後に、同じ大分県内での方言の違いや、文化の違い、大分のおいさん・おばさんの話など、会場は最後まで大きな笑いに包まれていました。

## 6回 ガーデンティー パーティーを開催

5月14日 2階ウッドデッキにて恒例となった春のガーデンティーパーティーをボランティア会の主催で開催しました。今回も入院患者さんやお見舞いの方など沢山の方にお越しいただき、大盛況となりました。

コーヒー・抹茶・紅茶のメニューから飲み物を選びお菓子を食べながら春の花を楽しみました。ボランティアの方も、患者さんから「おいしかったです』『病院でティーパーティーがあることは知り合いから聞いていました。私が入院しているときにあつてうれしいです』などの感想を頂いたそうです。

志水会長を初めボランティアの方には花壇の手入れやティーパーティーの開催などお世話していただきありがとうございました。

当院を支える皆様の善意に心より感謝申し上げます。これからもどうぞよろしくお願いたします。



▲吉田寛さんの楽しいトークに会場は大盛り上がりでした。

## 2009年度 病院年報発行

2009年度の病院年報を発行いたしました。当院のホームページよりPDF形式にて閲覧が可能ですのでご覧になってください。

<http://www.coara.or.jp/~akenohp/>



当日は良い天気でした。会場設営もばっちり。



2階談話室も大盛況。沢山の患者さんに来ていただきました。



ボランティア会のみなさんです。お忙しい中ありがとうございました。